

広報ひろね 5

昭和53年5月1日発行
発行所 白根市役所
〒73 2111

No. 260

人口の動き 4月1日現在 人口33,185人(前月比-33) 男 16,192人 女 16,993人 世帯数 7,284



健康 保健

今日号から、このページを「健康と保健コーナー」として、成人病の予防、結核の予防などについて掲載していきます。

成人病とは

働き過ぎの四十年代、ちょうどこのころから多く見られるのが成人病。高血圧、脳卒中、ガン、心臓病、糖尿病を総称して成人病といっています。

昨年の白根市の死亡統計によると、総死者数二百三十八人のうち約七割の百七十三人が三大成人病といわれる脳卒中・ガン・心臓病が原因でなくなっています。

また、日本人の死因の半数以上が、この成人病によるものです。あなたのまわりを見わたしてください。成人

日常生活の注意



ストレスのない生活

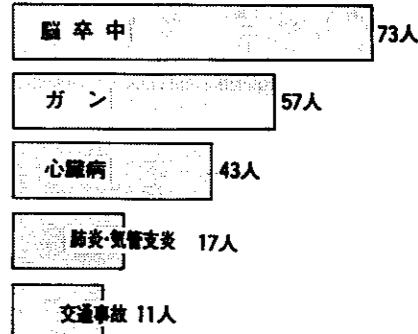


適度の運動をして睡眠と休養十分に



バランスのとれた食事

52年度死亡統計ワースト5



病にかかったり、それが原因で亡くなったたりした人がたくさんいるはず。成人病は、自覚症状がなくてやっかいな病気です。かからないよう予防すること、定期検診を受けて早期発見することが一番有効です。

なお、市でも成人病などの検診を実施しています。皆さんの家庭に配布した検診計画表をひろねを見て、必ず受診するようにしてください。

母子健康センターご案内 (午後1時~2時)

しごと	5月	対象者
6か月乳児検診	17日水曜	52年11月生まれ
1歳6か月児検診	18日木曜	51年11月生まれ
3歳児検診	19日金曜	50年4月生まれ
3か月乳児検診 ツベルクリン反応接種	23日火曜	53年2月生まれ (新飯田・茨曾根・白井・庄瀬 大郷・鷺巻)
3か月乳児検診 ツベルクリン反応接種	24日水曜	53年2月生まれ (白根・小林・根岸)
3か月児、ツ反 判定、B C G	25日木曜	23日にツ反接種したもの
3か月児、ツ反 判定、B C G	26日金曜	24日にツ反接種したもの
安産教室	14日水曜	妊娠初期の人
	9日火曜	妊娠中期の人
	28日日曜	妊娠後期の人

三種混合予防接種(二回目)

■対象者...①昭和49年7月1日から51年3月31日までに生まれた子で、初めて、または昨年1回接種した子は、3回接種する。②昭和48年7月1日から50年3月31日までに生まれた子で、昨年2・3回接種した子は、6月に接種してください。■費用...無料

日程(午後1時~2時・地域生活センターは旧駐在室)

対象地区	接種日	接種会場
茨曾根地区	5月9日	地域生活センター
小林地区戸頭、田中を除く	5月9日	地域生活センター
庄瀬地区	5月10日	地域生活センター
新飯田地区	5月10日	地域生活センター
大郷地区下赤洗、上・中・下笠巻を除く	5月11日	地域生活センター
白井地区下赤洗、西笠巻引越を含む	5月11日	地域生活センター
鷺巻地区西笠巻、引越を除く、上・中・下笠巻を含む	5月12日	地域生活センター
根岸地区	5月12日	地域生活センター
白根地区諏訪木-中央通り以南田中、戸頭を含む	5月15日	厚生会館
白根地区五六の町以北保坂古川を含む	5月16日	厚生会館

■注意 当日は、問診票に朝と昼の体温と、保護者名を記入し、押印して母子手帳と一緒に持参ください。からだの具合の悪い場合は、かかりつけの医師に相談してください。

今月の当番医 都合で変更もあります。

5月	医院名	地区	電話
3日	石崎医院	白根	72-3820
5日	桑原医院	白根	72-3185
7日	関川医院	新飯田	025374-2002
14日	渡辺(一)医院	白根	72-2568
21日	嶋岡医院	小須戸	025038-2118
28日	田村医院	鷺巻	72-5307
6月4日	水戸部医院	白根	72-2313



親子のふれ合い

新しく入園した子どもたちにとって、緊張と不安を少しでも取り除くために、スタートした園生活が、

一か月を過ぎようとしています。これからは家庭でお母さん中心に生活していた子どもたちが、集団生活の中で一人立ちするために必要なものを身につけて行くわけです。子どもたちは、親子のふれ合いにより心が満たされ安定します。そして自立の習慣を身につけることができるのです。その原動力は、スキンシップ(肌のふれ合い)です。乳幼児期、とくに三歳までは母親の肌のぬくもりを必要とし、その感覚を通して愛を感じるのです。

年齢が進むにつれ言葉のふれ合い、さらに心と心のふれ合いへと発展して行きます。そしてふれ合いを必要とする時期に、お母さんは、お子さんに十分接し、満足させてやらなければなりません。「今忙しいから後でまとめて……」などというわけにはいけません。こうしたことが原因で、言葉の遅れや情緒障害におちいる例が案外多いのです。お母さん、ふれ合うことの大切さを思えば忙しい中でも、心がけたいで時間はつくれるはず。お子さんが語りかけてきたときは、話の聞いてやりましょう。また悪いこと、ふれ合いは、時間の長さよりもその質が大切なのです。「愛されていると肌で感じればこそ、愛の励ましを受けて、子どもはたくましく巣立って行くのです」。

交通事故ゼロへの願い!

交通安全 口でいうより まず実行 (古川団地・高橋福蔵さんの作品)
■白根署管内交通事故(3月末現在) 人身事故件数 36件 死者 4人 負傷者 42人